

## 2021 年度第 2 四半期決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q1 : 2021 年度第 2 四半期において、持分法による投資損益の悪化要因となった船舶中国合併会社の損失について、影響額と背景を教えてください。</p>	<p>A1 : 2021 年度第 2 四半期に計上した持分法による投資損失（▲70 億円）のうち、ほとんどが船舶中国合併会社の損失によるものです。</p> <p>その背景は、①鋼材の市場価格が 2021 年の夏以降急激に上昇したこと、②円安の進行によりドル建て取引の鋼材購入費用が増加したこと、③昨今の船舶需要の高まりを受けて豊富な受注残を抱えており、①②の影響の規模が大きいことが挙げられます。</p>
<p>Q2 : 航空宇宙システムにおける 2021 年度通期の業績予想について、営業損益を▲60 億円から▲105 億円に下方修正した理由を教えてください。</p>	<p>A2 : 航空宇宙事業において、ボーイング 787 型機の減産に伴う減収が見込まれることが主な要因です。</p>
<p>Q3 : 航空宇宙システムにおける 2021 年度下期の業績は、上期と比べて売上・営業損益ともに大きく改善する計画ですが、根拠を教えてください。</p> <p>売上 : (上期) 1,333 億円 → (下期) 1,867 億円 営業利益 : (上期) ▲91 億円 → (下期) ▲14 億円</p>	<p>A3 : 2021 年度上期と下期を比較すると、下期は航空宇宙事業において防衛省向け売上の増加が見込まれます。また、航空エンジン事業において、新造エンジンの売上増加や運航時間の回復に伴う収益性の改善が見込まれます。</p>
<p>Q4 : ワシントン地下鉄車両の脱線事故に関連する損失リスクはありますか。</p>	<p>A4 : 事故の原因については、米国国家運輸安全委員会からの要請を受けて、当社も調査に参加していますが、全ての 7000 系車両は ワシントン首都圏交通局に引き渡した時点で技術仕様に合致していたことを確認しています。現時点で当社責に起因する損失リスクは想定していません。</p>
<p>Q5 : 中国の建設機械需要が一服感を見せるなか、2021 年度通期の油圧機器事業の売上予想を 1,600 億円から 1,650 億円に上方修正した理由を教えてください。</p>	<p>A5 : 足元では中国建設機械メーカーからの受注が回復に転じており、2020 年度の水準には及ばないものの中国では当面高水準の需要が続くとみています。また、中国以外の先進国需要の回復が見込まれることから見通しを引き上げました。</p>
<p>Q6 : モーターサイクル&amp;エンジンにおける 2021 年度第 2 四半期（6～9 月）の営業利益が、第 1 四半期と比較して大幅に減少した（148 億円→37 億円）理由は何ですか。</p>	<p>A6 : 半導体の不足により卸売が減少した（売上高 1,135 億円→933 億円）影響に加え、原材料価格の高騰や物流混乱に起因する費用の増加が原因です。</p>

## 2021 年度第 2 四半期決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q7 : モーターサイクル&amp;エンジンにおける 2021 年度通期の業績予想について、物流混乱や原材料価格の高騰、半導体および樹脂不足を背景とした費用増のリスクどのように反映していますか。</p>	<p>A7 : 各種リスクは依然として解消されておらず、2021 年度通期予想では、それらのリスクを特に利益面で反映した計画としています。</p>
<p>Q8 : 2021 年度通期の営業損益予想について、「調整額」が▲35 億円から▲70 億円に悪化する理由を教えてください。</p>	<p>A8 : DX（デジタル・トランスフォーメーション）関連投資による費用増に加え、当社でコントロールできない外部環境の変化に備えたリスク対応費用を織り込みました。</p>
<p>Q9 : 2021 年 9 月末時点の現金および預金残高が、有利子負債の返済等により 2021 年 3 月末時点から半減（1,267 億円→605 億円）している一方で、有利子負債が増加（5,933 億円→6,519 億円）している理由を教えてください。</p>	<p>A9 : コロナ禍における不測の事態に備えるため、社債や CP（コマーシャルペーパー）の発行を通じ潤沢な手元資金を確保したことで、2021 年 3 月末時点の現金および預金残高は例年より高い水準となりました。足元では不測の事態による資金流出リスクは減退したと認識し、余剰手元資金を増加していた有利子負債の返済に充てました。一方で、当社の事業特性上、第 2 四半期においてフリーキャッシュフローが悪化し有利子負債が増加する傾向にあるため、借入額が返済額を上回り、結果として 2021 年 9 月末の有利子負債残高は 2021 年 3 月末よりも増加しました。</p> <p>なお、2021 年 9 月末の総資産に占める現金および預金残高の割合は平年並みであり、2021 年度上期中に特殊な要因が発生した事実はありません。</p>

以上